

令和4年第4回定例会 文教厚生委員会 議案審査経過報告書

議案第74号 狭山市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例

○公布の日から施行となっているが、実質的な運用はいつになるのか。

●令和6年3月に運用を開始することになっている。本市では今年度からシステム改修に着手する形となっているが、あくまでも目安となっており、すぐに稼働できるかは今のところ確定していない。

○生活保護の申請時に保険証を職員が預かっていると思うが、その対応はマイナンバーカードの場合はどのようになるのか。

●生活保護申請時に健康保険証を持つ方は、一時的に被保険者ではなくなる。保護決定後は被保険者ではなくなるため、申請期間中に医療機関を受診する際は、申請日に遡って適用して医療等を受診できている。マイナンバーカードは医療に関する証明として使用するだけではないので、生活保護申請時に預かることはなく、必要があれば医療の受診は可能と考えている。しかし、その方が加入している医療保険については、一時的に脱退もしくは審査中といった情報提供をしなければ、医療に係る負担の過誤が出てきてしまうので、連携を密に取りながら運用していくように考えている。

議案第76号 狭山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

○賦課限度額の改定により引き上がる方の国民健康保険税の平均の引き上げ額はどれぐらいになるのか。

●医療分については1万9,350円、後期高齢者支援金等分については9,541円となっている。

議案第78号 狭山市立入間野小第三学童保育室の指定管理者の指定について

○入間野小第一・第二学童保育室と第三学童保育室の人員配置はどのようになるのか。

●第一、第二学童保育室は、現在、合計11名が勤務をしている。第三学童保育室については、最低限必要な2名と運営上必要な人員を含めて、合計4名程度を確保する。

○指定管理料は年間700万円で、3年分では2,100万円になるが、第一・第二学童保育室の指定管理の時と比べてどのような水準になっているのか。

●第一、第二学童保育室は、児童1人当たり22万8,827円になる。今回の第三学童保育室は、25名で割ると約28万円となり、5万1,173円の増額となるが、これは人件費の上昇や光熱水費の高騰を見込んだ数字である。

○提案の中に世代間交流プログラムがあるが、どのような内容か。

●新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきてからとなるが、地域の方々とお茶などを飲みながら交流したい、と提案されている。

- 運営体制について「全職員共通採用基準を設け」とあるが、この採用基準を市は把握されているのか。
- 資料によると、面接を行う中での言葉遣いや相手の様子などから採用が難しい場合は、指定管理者では資格を持っている者であっても採用しないとのことである。

- 学童保育室によって保育の内容に差があるとの保護者からの声に対する見解は。
- 最低基準は市でも示していきたいと思うが、指定管理を行う業者の特色というところもあり、研修等や他の学童保育室を見学するなどして、なるべく差がないような形でできるような方法で考えていきたい。
- 学童保育室ごとに運営に大きな差が出ないように、狭山市の学童保育室は一定の保育水準を保ちながら、その上に独自性がある運営となるように、市が管理者として見てほしい、との意見

議案第79号 狭山市ふれあい健康センターの指定管理者の指定について

- 前期との比較では、年間の指定管理料はどのようになっているのか。
- 1年間の指定管理料で比較すると、現在より440万円ほど高くなっている。おおむね電気料金の値上がり分を反映させた内容になっている。

- 喫茶室やカラオケも休止するといった提案になっているが、これについての判断や協議は。
- 飲食についてはコロナの見通しについての予測がしにくく、マイナス面が増える見込みが多いため難しいとの回答を得ている。

- 総額の人件費は変わらないとのことだが、スタッフの人数については変化があるのか。
- 現時点では、スタッフの人員に大きな変更はないと理解している。

- 大地震等の発災時にはどのように対応するのかについての取決めはされているのか。
- 指定管理者で対応マニュアルを作成して、職員に研修等をしていると聞いている。
- 指定管理者の緊急時の対応については、市でも把握されたい、との意見。

議案第81号 令和4年度狭山市一般会計補正予算（第8号） 歳出3款民生費、4款衛生費、10款教育費及びこれらの歳出に関連する歳入16款国庫支出金並びに債務負担行為

- 高齢者施設入所事業費が増額となった具体的な内容は。
- 当初、養護老人ホームの入所利用者数を14名と見込んでいたが、令和3年度末に1名増えたことにより、令和4年4月以降は15名になっている。また、短期入所等の利用者等を当初予算では5名と見込んでいたが、現時点での利用者数が6名おり、年度末までに新規利用者が3名程度見込まれることから増額した。

○公立保育所保育事業費の消耗品費の内容は。

●水野保育所の入間中学校跡地への機能移転事業に伴い、新たに施設において導入を予定している午睡用コットや午睡用マット、会議室の机、椅子等である。

○生活保護管理事業費のシステム改修委託料の内容は。

●全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律に準じて、生活保護受給者の方がマイナンバーカードを使って医療機関、薬局等を受診できるシステムを構築するためのものである。狭山市の生活保護システムと社会保険診療報酬支払基金システムを結ぶデータ連携が必要になり、補正予算を計上した。

○情報漏えいが非常に心配だが、生活保護とのデータ連携というのは具体的にどのようなものか。

●マイナンバーカードのデータ連携は、基本的に医療機関が全ての情報を確認できるわけではない。生活保護受給者の部分で必要最低限のデータを国が提供して、それを確認する形になっており、必要以上の個人情報、各医療機関、薬局とも取得できないようになっている。

○感染症防止対策事業費として配布する抗原検査キットはどのようなものか。

●今回配布を予定しているのは、新型コロナウイルスとインフルエンザの検査に同時に対応する検査キットである。

○インフルエンザと新型コロナウイルスの同時検査キットは、現在は医療機関のみで使用ができ、一般の市販については検討している段階で、まだ国から許可は下りていない。配布が1月ぐらいになると思うが、それまでに許可が下りなかった場合はどのように考えているのか。

●仮にインフルエンザの検査キットの使用許可が認められない場合であっても、本人の確認用として使えるように考えている。使い方は、配布する際に十分説明をして手元に届くような形で対応していきたいと考えている。

○検査キットの配布までのスケジュールは。

●今議会で可決されたら、まずは公立中学校の対象者の世帯ごとの人数を12月中に把握したいと考えている。私立に通う生徒については、広報やホームページ、SNSを活用して、随時周知に努めていきたい。私立高校の受験が1月中から始まるので、それに間に合うように、1月中旬から下旬には手元に届くような形で配布できるように準備を進めたい。

○検査キットの購入個数と単価は。

●対象者4,823人は、中学3年生とその家族を含めた総数であり、10月5日現在の住民基本台帳での確認による。内訳は、中学3年生が1,175人、その家族が3,648人となっている。単価は税込みで1,870円のものを購入する予定である。

○未使用分の検査キットの回収についての考えは。

- 市による回収は考えていない。配布をした後に各家庭で有効に使っていただきたいと考えている。

- 入間川小学校校舎除湿温度保持工事費について、入間川小学校は全ての普通教室と特別教室、体育館で冷暖房があると認識しているが、その全てにおいて工事を行うのか。
- 今回の工事の対象範囲は校舎の中の普通教室及び特別教室で、体育館は行わないこととなっている。

- 公民館管理事業費の360万円は光熱水費ということだが、詳細は。
- 直営の公民館の不足分であり、電気については6館分の合計で、ガスについては4館分の合計である。